



うおづ

社協だより

Vol.167

2020

3

ボランティア活動の実践



11月22日(金)、12月1日(日)の2日間にわたり、台風19号により浸水被害が発生した長野市において災害ボランティア活動を行いました。

地区社協役員や市内外より、沢山の方々の参加のもと、被災地の支援にあたることができました。参加者からは「日頃の暮らしのなかで災害に対する備えをしたい」「いざという時の行動について考えるきっかけとなった」という声がありました。

被災地支援活動について…P2

魚津市社会福祉法人連絡会設立について…P3

会長新年のご挨拶…P4

魚津あったか食堂のお知らせ…P5

おしえてうおっしゃくん…P6



社会福祉法人 魚津市社会福祉協議会
〒937-0801 魚津市新金屋2-13-26
TEL (0765) 22-8388・FAX (0765) 22-8390
E-mail: info@uoshakyo.net (代表)



地域の方々と被災地(長野市)の支援に行ってきました

発生から1か月以上経過したあとに現地を訪れましたが、道路にはまだ薄っすらと土砂が残り、周辺のりんご畑や民家の庭先には流れ込んだ土砂が30cmほど堆積していました。

私たちボランティアは概ね4人～5人のグループに分かれ、堆積した土砂の撤去作業を行ってきました。



ボランティア、被災地の方にお話しを伺いました

ボランティアに参加 Nさん(女性)

ボランティア参加は貴重な経験でした。改めて被災の大きさ、再建の難しさを肌で感じました。それでも力強く次の一歩を踏み出そうという被災者の心強さを感じました。



被災者の方の話

千曲川の決壊箇所から1.5kmほど離れたここ赤沼地区では、川の水は2m近くあり家の二階へ迫る勢いだった。一度川の氾濫で水に浸かると衛生上の問題で家の骨組みの消毒をしなければいけないようだ。現在は隣町の親戚宅で生活しているが、また、赤沼に戻り生活がしたい。

実際の活動を通して

ボランティアに参加された方々には、現地を見て、「自分の身を守るための行動」について考えておくこと、「災害時持ち出し袋の準備とチェック」など日頃から備えておくことが大事だと感じてもらえたと思います。また、同時にボランティアが果たす役割なども実践を通して十分に理解されたことだと思います。

そして、ボランティアセンターを運営する社協の現地での対応をみて、災害が起きた時の対応(運営)について当社協でも検討しておくべき課題がいくつかあることを実感することができました。

今回の被災地支援にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

台風19号災害義援金へのご協力ありがとうございました

●沖田崇寛 ●元野清光 ●NICE TV 親睦会 ●下中島地域振興会・下中島地区社会福祉協議会

●新川みどり野高校福祉教養科一同 ●匿名2名 (敬称略)

その他、まるまる魚津等イベントにてご協力いただきました。

義援金は中央共同募金会を通じて被災地へ配分されます。

台風19号の義援金については令和2年3月31日まで受付しております。



魚津市社会福祉法人連絡会が発足しました!!



連絡会会員

(福)新川老人福祉会
(福)海望福祉会
(福)魚津保育会
(福)吉島保育園
(福)新川児童福祉会
(福)本江児童福祉会
(福)天神保育園
(福)新川むつみ園 坊丸の郷
(福)魚津市社会福祉協議会

～住みやすく安心して暮らせる地域を作っていくために～

令和2年1月27日(月)、ありそドーム研修室において、市内9つの社会福祉法人による魚津市社会福祉法人連絡会設立総会が開催されました。設立総会において、会則や役員選出などの決議が行われたほか、記念講演会を通して、児童・障がい・高齢など分野を超えたネットワーク化、複数法人の連携による地域福祉課題への対応など、市内9つの社会福祉法人で取り組んでいくことの重要性などを共有しました。

市内9つの社会福祉法人が連携することで、既存の制度では対応出来なかったニーズへの対応、福祉人材の発掘や育成、情報発信や情報の共有など、社会福祉法人の専門性や資源を活かした取り組みがより深まり、魚津の福祉が横断的に展開されるようになることが期待されます。

当協議会も社会福祉法人連絡会の一員、また、事務局として、法人間連携による地域公益活動に積極的に取り組んでいこうと考えております。

役員

会長	大熊 知博(新川老人福祉会)
副会長	大崎 雅子(海望福祉会)
副会長	関口 孝子(天神保育園)
監事	金屋 栄子(本江児童福祉会)
監事	広田 佳久(新川むつみ園坊丸の郷)



今回の設立総会にあわせ、社会福祉法人みかり会(兵庫県神戸市)理事長 谷村 誠 氏による記念講演会を開催し、地域共生社会における社会福祉法人の役割や法人間の連携や共同による具体的な取り組みなどについて、各法人の職員など約70名の参加者に講義をしていただきました。



会長のご挨拶



社会福祉法人
魚津市社会福祉協議会
会長 本元 義明

年が明け、気が付けばもう2か月が経過いたしました。
本年は56年ぶりに東京でオリンピックが開催される記念すべき年となります。

旧年中は当社会福祉協議会へのご支援ご協力に対しまして、あらためて厚く御礼申し上げます。

昨年は激動の一年でした。5月には新天皇陛下の即位に伴う「令和」への改元。10月には消費税率10%への引き上げ。そして、同じく10月の台風19号や大雨による甚大な自然災害の発生などがありました。当社会福祉協議会でも災害救援ボランティアを募集し、千曲川の氾濫によって大きな被害が出た長野市で、二度にわたって救援活動を行いました。災害救援ボランティアにご協力していただいた皆様には深く感謝申し上げます。このような自然災害が地球温暖化の影響だとすれば、今後も風水害が起り得ると予想されます。これまで想定されていなかった地域においても十分な対策が求められることとなります。

しかし、台風等の被害を吹き飛ばすような嬉しいニュースもあり

ました。世界の強豪国を次々と破し、ワールドカップにおいて史上初の8強入りを果たしたラグビー日本代表チームの活躍は見事なものでした。「もう、これは奇跡とは言わせない」と、その実力が絶賛され、ラグビー日本代表チームが掲げたスローガンである「ワンチーム」は流行語にまでなっています。

さて、当社会福祉協議会では、昨年より福祉教育サポーターの設置を目指して、その養成講座を開催してきました。本年は、いよいよ学校と福祉施設・団体の連携をはかりながら福祉教育の実践化を推進していきたいと思っております。また、1月末には、魚津市内の社会福祉法人と連絡会を立ち上げました。各社会福祉法人が連携しながら地域福祉の向上に寄与していきたいと考えております。

遅ればせながら、本年も当社会福祉協議会への絶大なご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしく
お願い申し上げます



きれいふくしん

魚津市社協の仕事に従事する
素敵な仲間たちを紹介します。



魚津市社会福祉協議会地域福祉課
地域福祉推進係 只石 杏子 さん

昨年4月にヘルパーステーションから地域福祉課へ異動となり、主にささえあいマップ事業やひとり暮らし高齢者給食サービス事業など、地域福祉の推進に深く関わる仕事をしています。

これまで、利用者さんやそのご家族との(個の)関わりを主に仕事をしていましたが、地域福祉課では利用者さんやそのご家族を取り巻く環境(住んでいる地域)に働きかけていく必要があることから、「どう動けば良いのか」という戸惑いはあったようです。



しかし、「利用者さんと接することと同様に、その地区その地区の状況や実情に応じた関わり方がある。」と考え行動することで、「環境などに働きかけ、地域の方々にとって良いサポートができるコミュニティーソーシャルワーカーになりたい。」と意欲的に地域福祉課の仕事に臨めるようになってきたとのことでした。福祉の仕事について、「沢山の人のやさしい気持ちに関わることができ、自分もやさしい気持ちになることができる。」と、その魅力についても語っておられました。

魚津あったか食堂のご紹介

魚津あったか食堂は、子どもから大人まで、誰もが集まれる場所で、みんなでワイワイ言いながら、家庭の味を食べられる食堂を目指して、ボランティアさん主体で2019年度より取り組んできました。1年間の活動と振り返りについて紹介させていただきます。

ボランティアさんより



多くの市民の皆さまから、心温かい寄付金やお米、食材などを提供いただき、本当に嬉しく有難いことと思っています。ボランティア全員、ワンチームでおふくろの味を楽しんでもらっています。「おいしかったよ。」「おかわりしたよ。」の一声が最高のエネルギーになります。子どもたちの喜んだ笑顔が今も脳裏に焼き付いています。

利用者の方々より



心の温まるコミュニティの場をありがとう

ボランティアの皆さんのニコニコ顔に癒されました



提供食数

4/21 56食(大人46/子ども10)	5/19 77食(大人58/子ども19)
6/9 105食(大人81/子ども24)	7/21 72食(大人61/子ども11)
9/15 67食(大人57/子ども12)	11/24 75食(大人56/子ども19)
12/15 63食(大人57/子ども7)	2/2 92食(大人76/子ども16)

笑顔あふれる楽しい食堂が毎月開催できているのは、ボランティアさんの力があったからこそだと思います。食事のひと時を通じていろんな繋がりや笑顔の交流が生まれると良いなと思います。

魚津市児童センターへあそびにいこう！

令和2年度 親子教室会員募集

- *場所：つばめ・ひばり・すずめ児童センター
- *対象：未就園児とその保護者
- *日時と定員

- ・毎週水曜日…6ヶ月～2歳未満児 10組
- ・毎週金曜日…2歳以上児 10組

時間：9時30分～12時30分

- *会費：年会費1,800円

*受付開始日：3月9日(月)10時～先着順

各児童センターへ直接お申込み下さい(電話不可)

申し込み・問い合わせ先



運動会

(つばめ児童センター)



つばめ児童センター
☎23-5133(新金屋)



ひばり児童センター
☎23-0500(六郎丸)



すずめ児童センター
☎23-0522(北鬼江)

あったかいごはんをみんなでたべよう

魚津あったか食堂



日時 3月8日(日)11:30～13:00

場所 旧福祉センター百楽荘
魚津市新金屋2-13-26

問い合わせ

魚津あったか食堂(魚津社会福祉協議会)
TEL(0765)22-8388

※警報が発令された際などやむを得ず中止になることがあります。



認知症の方との接し方と コミュニケーションの方法

受け入れる

事実を理解させようとするのではなく、不安が解消できる声掛けをおこないましょう。



ペースに合わせる

動作や言葉が出てくるまでに時間がかかっても、急かさず本人のペースに合わせてみましょう。

ほめる・感謝する 相槌を打つ

笑顔で接することを心掛けましょう。自分自身を認めてもらえたと感じ、気持ちも良くなります。



認知症の方は何について注意を受けたかは忘れても不快な気持ちにさせられたことは覚えているんだって。言葉や行動を否定をしないことが大原則だよ。目線の高さを合わせたり、耳元でゆっくりと話をしたり、時には手を添えたりしてもらえると、更に安心した時間が過ごせてもらえるんじゃないかな。

話題提供: 東部デイサービスセンター ☎22-7772

令和元年度 傾聴講座 受講者募集

地域には、在宅で話がしたい、話を聞いてほしいとおっしゃる高齢者がたくさんおられます。

一方で、話を聞いてくれる方(傾聴ボランティア)の数は年々減少傾向にあります。

この講座では、傾聴の大切さを知っていただくことはもちろん、実践に役立つワークも行います。

♡話の聞き方を
楽しく学ぼう♡



日時: 令和2年3月3日(火)
午前10時~12時
会場: 魚津市社会福祉協議会第一会議室
講師: 山藤奈穂子氏
(臨床心理士・公認心理士)
内容: 講義、ワークショップ

参加無料
定員30名
要予約

問合せ 魚津市社会福祉協議会 地域福祉課
TEL 22-8388 FAX 22-8390

あなたの善意に感謝します

使用済み切手寄付 (敬称略)

個人

- 浜辺百子 ● 谷口梅子 ● 岸 澄子 ● 高慶嬉子
- 大崎 勉 ● 大野康太郎 ● 藤田秀治 ● 匿名7件

団体/企業など

- 新川高校 ● (株)シキノハイテック
- 加積公民館 ● 木下通信工業株式会社

使用済み切手回収にご協力ください

ご家庭や会社、学校などで使用済みの切手はございませんか? 使用済み切手が、アジアやアフリカなど医療の進展に繋がっていきます。皆様からの使用済み切手は魚津市ボランティアセンターを通して、日本キリスト教海外医療協会へ寄付させていただきます。

例 タンザニアで
一年分の看護
学校の教科書
=約1kg
約5,000枚

例 ウガンダの
助産師学校で
半年分の実習費
=約3.8kg
約18,000枚

使用済み切手の切り方

